

指定管理者制度導入施設 管理運営状況(令和5年度)

基本情報						
施設名称 (愛称)	滋賀県立栗東体育館					
HPアドレス	https://www.bsn.or.jp/r-gym/	(建物外観等)				
電話番号	077-551-1030					
所在地	栗東市上鉤514					
設置目的	「県民の心身の健全な発達と体育・スポーツの普及振興を図るため」(地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第30条の規定)					
所管	部局	文化スポーツ部				
	課等	スポーツ課				
設置年月	平成6年10月					
土地	敷地面積	5,581.00㎡	避難所指定等	—		
	市街化区域	市街化区域	防災拠点指定等	—		
	用途地域	第一種住居地域	文化財指定	—		
建物	延床面積	3,201.18㎡	再生エネルギー等	—		
	取得価額	1,414,173,840円	自家発電設備	有		
運営	運営方法	指定管理	バリアフリー	障害者用エレベーター	無	
	運営時間	8:30~21:30		多目的トイレ	有	
	休館日	月曜日、年末年始		オストメイト対応トイレ	無	
駐車台数	30台	車いす使用者用駐車場		1台		
特記事項 ・指定管理者:滋賀県スポーツ協会(令和3年4月1日から令和8年3月31日まで)						
施設概要						
名称	主体構造	設置年	延床面積	階数	耐震	備考
栗東体育館	鉄筋コンクリート造	H6.10	3,145.20㎡	2	新耐震	
観客席						
ポンプ室・LPG倉庫	コンクリートブロック造	H5.4	11.88㎡	1		
自転車庫	鉄骨造	H5.4	44.10㎡	1		



←外観



アリーナ→

指定管理者管理運営状況（令和2年度～令和5年度）

指定管理者管理運営状況

年度	指定管理者	指定管理期間
R5年度	滋賀県スポーツ協会	令和3年4月1日から令和8年3月31日まで
R4年度		
R3年度		
R2年度	滋賀県スポーツ協会	平成28年4月1日から令和3年3月31日まで

成果情報	R2	R3	R4	R5	備考
利用可能日数(単位:日)	274	317	314	317	
年間利用人数(単位:人)	38,612	50,353	48,651	51,226	
1日あたり利用人数(単位:人/日)	140.9	158.8	154.9	161.6	
年間収入(単位:円)	47,975,808	49,029,923	51,692,243	51,313,488	
1日あたり収入(単位:円/日)	175,094	154,669	164,625	161,872	

収入・支出実績 (単位:円)	R2	R3	R4	R5	備考
収入①	47,975,808	49,029,923	51,692,243	51,313,488	
施設利用収入	12,372,235	15,451,000	16,095,760	16,372,210	
指定管理料	35,574,998	33,553,000	35,436,190	34,892,000	
その他収入	28,575	25,923	160,293	49,278	
支出②	47,394,894	47,662,862	47,196,511	40,946,545	
人件費	30,830,133	29,039,167	28,604,721	20,318,467	
施設管理費	16,564,761	18,623,695	18,591,790	20,628,078	
事業費					
収支 ①-②	580,914	1,367,061	4,495,732	10,366,943	

モニタリング実施状況(令和5年度)

報告書の別	内容
年度報告	年次事業報告書(令和6年4月報告)
月例報告	月例業務報告書(毎月報告)
実施調査	令和5年11月7日、令和6年3月21日

利用者ニーズの把握

手法・実施時期	令和5年9月から令和5年11月まで利用者満足度調査を利用者(団体・個人)に実施
実施内容	施設利用者へのアンケート調査
調査結果	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の使いやすさについては「満足」「ほぼ満足」の回答が98%、職員の挨拶、対応については97.5%と高い評価を得ている。 ・総合的な満足度では、「満足」「ほぼ満足」の回答が98%と高い評価を得ている。 ・具体的な意見・要望等については「アリーナ冷暖房費が高すぎる」などの意見、要望があったが、ロビーにスポットクーラーや扇風機の設置を行うなどの対応に取り組んだ。

工夫・成果のあった点、運営上の課題

・施設設備、体操器具等の点検結果において不備が認められる箇所については、危険度や予算等に応じて優先順位を付け、迅速に修繕等を実施した。またすぐに修繕できなものである場合は、全職員が状態を把握し、特に注意して日常点検や月次点検を行った。

・昨年度に引き続き、照明器具のLED化やデマンド監視装置による電気使用量を随時把握し、適切な使用に努め、環境への配慮と経費の縮減に取り組んだ。

・アリーナの利用については、1時間ごとに予約人数を把握し、空いている時間の利用を促した。このことにより、混雑を緩和し安全の確保と快適な練習環境の提供、利用の促進に努めた。

・スポーツ事業の実施においては、幼児から高齢者まで参加していただけるよう「体操教室」「トランポリン教室」「ヨガ教室」「スポーツ健康塾」等を開催し、県民のスポーツ実施率の向上と体操競技人口の拡大に努めた。

・2025年の国民スポーツ大会に向け、競技力の向上を図るための練習環境の充実と、国スポの体操練習会場としての役割を果たすため、体操器具等を整備していく必要がある。

・開館から28年が経過していることから、設備等の老朽化が進んでいるため、早急な対応が必要である。

・駐車場が30台分のスペースしかないため、大会開催時や多くの利用が重なる際の対応が課題である。